

## 災害時における薬剤師および薬剤師会の体制について

### 【はじめに】

4年前の中越地震から立て続けに能登半島地震、中越沖地震、そして今年の岩手宮城内陸地震、と地震災害が多く発生している。

地震発生と同時に日本医師会、日赤、D - MAT、自衛隊、など組織化された医療チームが災害現場へ駆けつけ医療支援を開始している。しかし、薬剤師においては、災害支援に医療チームへの参加と避難所などへの公衆衛生面での参加と立場が色々である。特に薬剤師および薬剤師会の災害支援は組織化が大きく遅れ、災害時の日赤やD - MATのような迅速な行動がなされていない。

薬剤師および薬剤師会の災害時支援体制についての活動内容、問題点、課題、などについて検討してみたので報告する。

### 【活動内容】

薬剤師が行なう災害支援は、災害の種類、規模、季節、など様々であるが、多くの場合、ライフラインの遮断、避難所生活に伴う公衆衛生の整備と、指導、心のケアなどである。これら問題の改善、解決のために各種支援を行ってきた。

### 【問題点と課題】

各県の薬剤師会には災害時のマニュアルが作成されているが薬剤師全体という中での協同支援体制、または、組織化がなされていないのが現状である。

D - MATのような災害現場で組織化され迅速に行動できる実行部隊が薬剤師にも必要であると思われる。同様に組織化されていないボランティアが集結しても、そのマンパワーを有効に活用出来ない。

支援物資に関しても予め備蓄しておき災害時にはセットされたものを持ち込める体制が必要である。全国からのボランティアによる支援を待っていたのでは、種類、量、調達時間に問題があります。

### 【考察】

災害発生時に迅速な医療支援を行なう為に、早急な災害薬剤師の養成と組織化が必要である。また、支援物資に関しても県薬剤師会、医師会、行政、などとの調整の上、予め備蓄されたものを迅速に持ち込める体制が必要である。最近の地震発生の多さから、これら体制の整備は早急な課題である。